

## 【新型】2.54mmピッチ変換基板仕様書 Rev.1

※本製品は製造上の理由等から予告なく仕様変更される場合がございます。

### 【コネクタ信号表】

コネクタ	ピン番号	信号名	ZEAL 信号名	ZEAL ピン番号	備考
CN2	1	SPI_CSB	-	18	開発用
	2	SPI_CLK	-	12	開発用
	3	SPI_MISO	-	10	開発用
	4	SPI_MOSI	-	8	開発用
	5	I2C_SDA	-	6	開発用
	6	I2C_SCL	-	4	開発用
	7	PCM_C	PCM_CLK	13	現在拡張予定なし
	8	PCM_I	PCM_IN	11	現在拡張予定なし
	9	PCM_S	PCM_SYNC	9	現在拡張予定なし
	10	PCM_O	PCM_OUT	7	現在拡張予定なし
	11	RESET	RESET	5	
	12	GND	GND	1,2,3,28,29,30	
	13	GND	GND	1,2,3,28,29,30	
	14	GND	GND	1,2,3,28,29,30	
CN3	1				未接続
	2				未接続
	3	BOOT0	BOOT0	20	ZEAL-C01 のみに存在
	4	BOOT1	BOOT1	22	ZEAL-C01 のみに存在
	5	MODE0	MODE0	24	
	6	MODE1	MODE1	26	
	7	ZCTS	CTS	19	
	8	ZTXD	TX	21	
	9	ZRXD	RX	23	
	10	ZRTS	RTS	25	
	11	ZSTO	STO	27	
	12	VCC	VDD	14,15,16,17	
	13	VCC	VDD	14,15,16,17	
	14	VCC	VDD	14,15,16,17	

## 【信号の説明】

- SPI\_XXX、I2C\_XXX[CN2(1-6)]

開発用に用意された信号線です。未結線にて使用してください。

- PCM\_XXX[CN2 (7-10) ]

音声信号通信用で拡張の可能性を考慮して用意しておりましたが、現在のところ拡張の予定はありません。未結線にて使用ください。

- RESET[CN2(11)] : LOW アクティブ

ZEAL シリーズは本体内部にリセット IC を搭載しているため、電源投入時にパワーオンリセットされます。このため明示的にリセットが必要な場合を除き未接続で問題ありません。リセット回路は C01、S01、C02 でそれぞれ異なります。詳細は【補足：リセットの説明】をご参照ください。

- GND[CN2(12-14)]

GND に接続してください。すべてのピンは結線されております。

- [CN3(1,2)]

未接続ピンです。

- BOOTx[CN3(3,4)] : 入力

ZEAL-C01 のみに存在する信号線です。ZEAL-C01 を使用する場合には GND に接続してください。ZEAL-S01 のみを使用する場合には、未結線でも GND 接続でも問題ありません。

- MODEx[CN3 (5,6) ] : 入力

ZEAL のモードピンに接続されます。

モードピン		状態
0	1	
HIGH	HIGH	通常モード
LOW	HIGH	設定値起動モード
HIGH	LOW	自動モード
LOW	LOW	ファームウェア書き込みモード

ZEAL-C01 は 51kΩ、ZEAL-S01 はチップ内部にてプルアップされています。このため未接続の場合、両ピンとも HIGH となり通常モードで起動します。※詳細な使用方法は ZEAL コマンドリファレンスをご参照願います。

- ZCTS[CN3 (7) ] : 入力 : LOW アクティブ

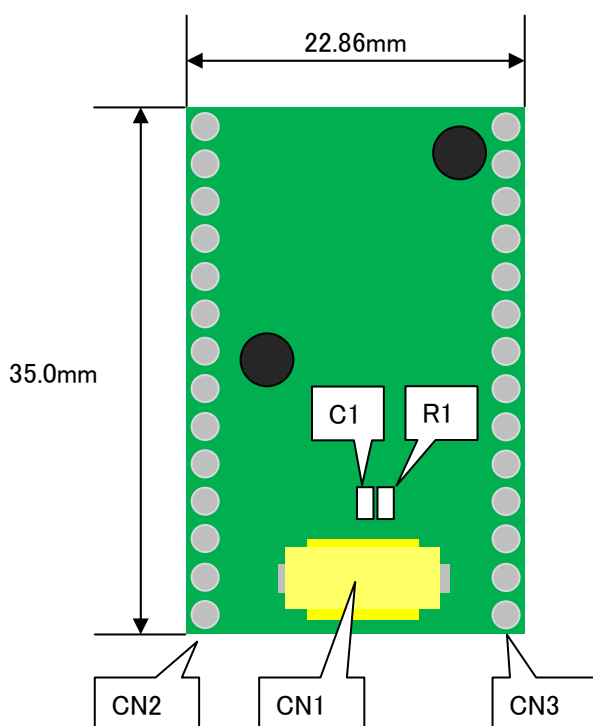
ZEAL の CTS と接続されています。UART の送信許可信号です。

- ZTXD[CN3 (8) ]: 出力: データ  
ZEAL の TX と接続されています。UART の送信データ信号です。
- ZRXD[CN3 (9) ]: 入力: データ  
ZEAL の RX と接続されています。UART の受信データ信号です。
- ZRTS[CN3 (10) ]: 出力: LOW アクティブ  
ZEAL の RTS と接続されています。UART の送信要求信号です。
- ZSTO[CN3 (11) ]: 出力  
ZEAL の接続/切断のステータスを出力することができます。ステータス出力の設定を ON にすると接続時に LOW を出力します。※詳細な使用方法は ZEAL コマンドリファレンスを参照願います。
- VCC[CN2(12-14)]  
電源ピンです。3.3V を入力します。すべてのピンは結線されております。

#### ★補足

ZEAL の UART はハードウェアフロー制御を推奨しております。フロー制御を行わない場合には、CTS 信号を LOW に固定しておく必要があります。R1 に抵抗を実装することにより、CTS をプルダウンすることができます。(※フロー制御を行わない場合はデータ落ち等の可能性がありますので、その点ご了承の上、ご利用ください。)

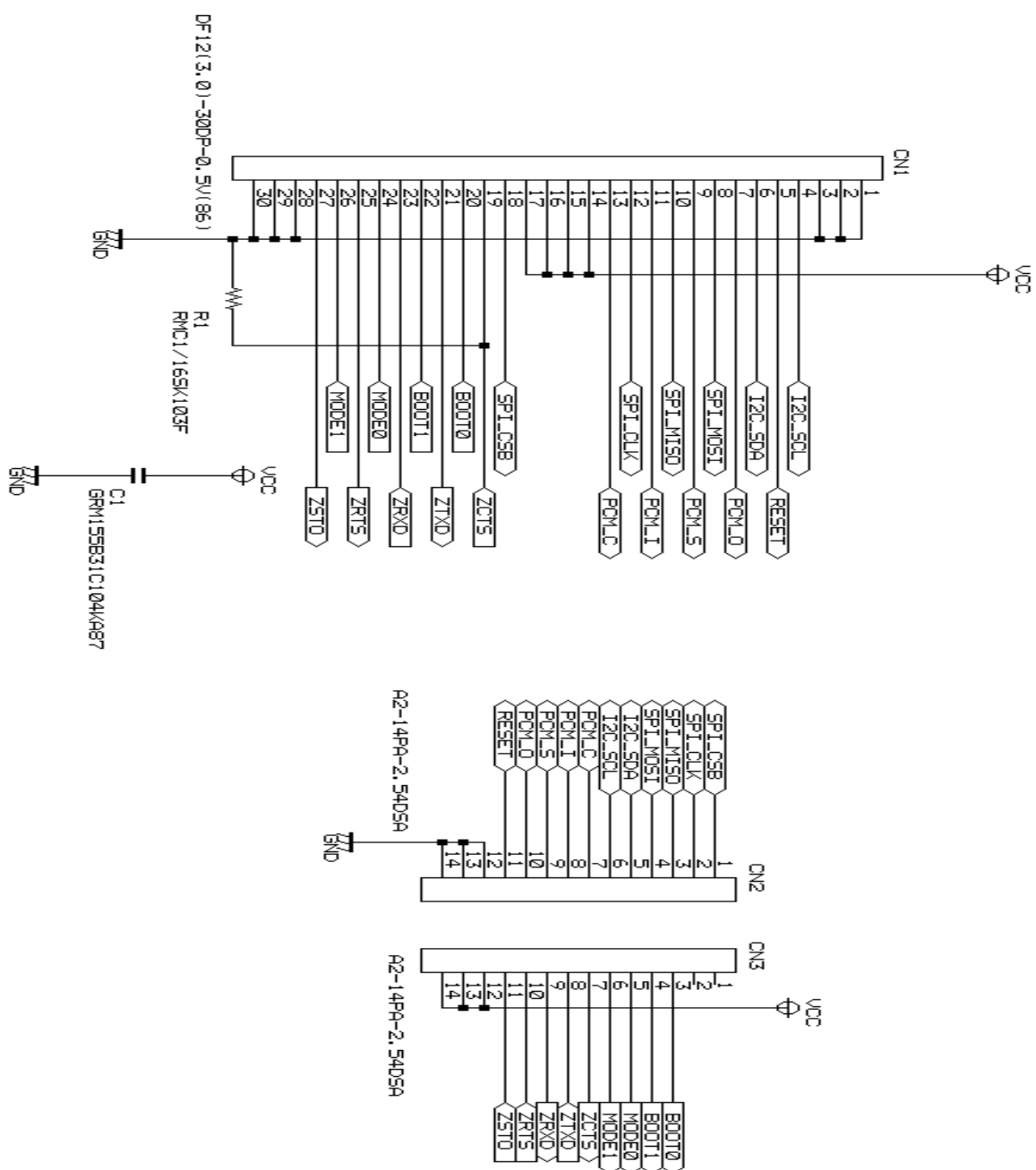
#### 【外形寸法および配置図】



【部品表】

リファレンス	型番	員数	メーカー	備考
C1	未実装	1		
CN1	DF12(3.0)-30DP-0.5V(86)	1	ヒロセ	
CN2,CN3	ピンヘッダ (14P)	2		
R1	未実装	1		抵抗実装により CTS プルダウン

【回路図】



【補足：リセットの説明】

